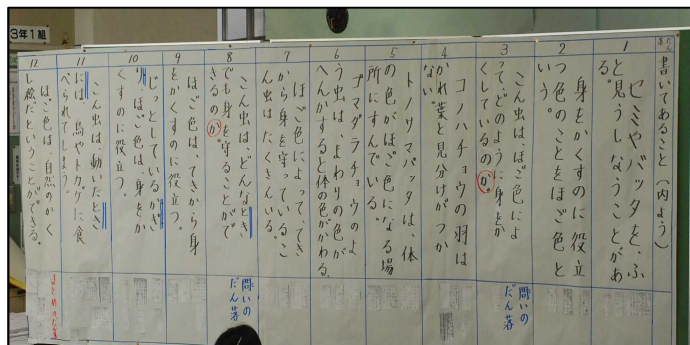


### 3年 国語科研究授業のまとめ（5月29日）

#### 1 単元名及び単元の目標

「自然のかくし絵」（8/8本時）

- ◎ 説明的な文章で、段落ごとに読み取ったことを基にして、考えたことや感想を伝え合い、いろいろな考えがあることに気付かせる。



（資料1）拡大ワークシート

#### 2 本研究授業の提案について

段落ごとに読み取ったことを基に考えた自分の感想を伝え合い、考えを深めたり、自分では気付かなかったことを見付けたりするための手立てとして、以下の二つを提案した。

(1) 段落ごとの要旨や感想を書いた一覧表を掲示するという手立てを行った。自分の感想をまとめる時も、他グループの発表を聞くときにも、根拠となる段落がどこなのかが一目で分かり有効だった。



（資料2）記入した短冊を黒板に提示

(2) 似通った感想を持つ児童ごとにグループを作り、自分たちの感想を分かりやすい文章にまとめた。その後、感想とその理由を色の違う大きな短冊に記入し、それを指し示しながら発表するという手立てを行った。グループで話し合ふことで、自分の感想の中心となることや根拠が確認できた。他グループの感想やその理由を聞いている時には、「気付かなかった・・・。」「なるほど、そうだね。」などのつぶやきがあり、いろいろな考えがあることに気付くことができた。その後、他グループの感想を聞いて、なるほどと思ったことや、自分では気付かなかったことをワークシートに記入した。ワークシートには、前時に個人の感想を記入してあり、他グループの発表や黒板に掲示された感想と、自分の感想を見比べたりしながら記入することができた。ワークシートに記入したことは、本時での考えの深まりや新たな気づきが児童にとっても指導者にとっても分かりやすく、有効だった。

#### 3 本研究授業の授業技術課題について

段落ごとの要旨や感想を書いた一覧表や、感想や理由を記入した大きな短冊など、単元全体や本時の学びの履歴が見えるようにした。それによって、自分の考えと違う考えに気付くことができ、また、新しく気付いたことやなるほどと思ったことの原因や根拠を、本文に立ち戻って捉えることができた。

事前に各児童の感想を指導者が把握していたことや似通った感想を持つ児童ごとにグループを作っていたことは、本時での気づきや深まりを机間指導で見取る際に有効であり、考えが広がったり深まったりした児童の意見を的確に拾い、全体に広げることができた。しかし、感想の根拠が明確でなかったところがあり、前時で根拠となる段落を明示する指示が不足していたことが反省される。

#### 4 次回の研究授業へ向けて

以上の点をふまえ、次回の授業研究では以下の点を意識した授業展開を考えたい。

- ・自分の考えの根拠を伝える方法を明示し、説得力のある発表ができるようにする。
- ・話し合う基準を明確にしたり視覚的に捉えられたりするような工夫をする。

